



—— 第49回 定時総会 記念講演 ——

『月曜日がワクワクする会社』

～覚悟と使命で人を巻き込み、会社が変わり地域が変わる～

【講師】 (有)テヅカ精機／代表取締役 **手塚 良太 氏**

(長野同友会・中同協 青年部連絡会 副会長)

同友会との出会い

名古屋で音楽活動、バンドマンをしていたのですが、病に倒れた父親の要請で帰郷し、会社を継ぐことになったので、会社のことは何も知りませんでした。ただ、小さい頃から早朝から夜中まで働く父親を見ていたので、経営者は寝ないで働くものだ。だから、自分も会社を継いだらとにかく寝ずに働かなければならないんだろうな。経営者って何をするんだろう等々、帰ることを決めてからの月日は胸の内で大きくなる不安に押しつぶされそうでした。

そういうときに出会ったのが中小企業家同友会でした。きっかけはバンドをやめて家業を継いで社長になった先輩に、「社長ってどんな感じ？家業を継ぐことになったんだけどどうしたらいいか」と、軽い気持ちで

相談したら、彼は何も言わずに同友会の入会申込書を持って来て、「これ書け」と言われたことです。これが入会のきっかけですが、先輩は愛知同友会だったので、愛知同友会で先輩会員に怒られながら、どうにか活動を続けました。

テヅカ精機と私

2013年にテヅカ精機入社。当時の社員数は14名、平均年齢はゆうに50歳超え、1社取引99パーセントの会社で、父親同様、寝ずに働くことになったのですが、同友会での活動は続けました。

当時の長野同友会には青年部がなかったので、片道2時間をかけて愛知同友会に通いました。

経営者としての当時の私は、とにかくわからないことだらけの上に、全ての作業が昔ながらのままで、効

率の悪さは目に余るものがありました。何とかしたいと父親に話を持ちかけると「そんなもんお前の好きなようにやりやあいいが」の一点張りでした。そういうことで、ここからいろんな失敗がスタートしていきました。

んな理由ばかりでした。その上に、1社取引99パーセントだった会社の仕事がある日突然なくなってしまうしました。組み立て加工賃月800万円の仕事が無くなったわけですから、全くの立ち往生状態です。

同友会活動と私

父親から事業を引き継いだ当初は1社取引99パーセントだったのですが、私が帰って来たことで少しずつ取引先が増えていき、人出不足に陥ったため改めて14名を採用したのですが、数カ月で殆どが辞めていき、以降その繰り返しでした。

会社経営が行き詰まっていた頃には愛知同友会から長野同友会に移籍しており、そこで例会報告をすることになったのですが、私には月末の給料のことで頭がいっぱいで話すことなど何もありません。わずか10分足らずで話が終わったので、「たったそれだけ？」と呆れられてしまいました。毎晩近くの公園のベンチで「何で帰って来たんだろう」「何でこんなことになってしまったのか」と、缶ビール片手にそれを飲むことも忘れ

て泣いていました。そんな私を見ていた父親が「お前が戻って来てくれたからテヅカ精機は今日までもったんだ。だから好きなことをすればいいんだ」と諭すように言いました。それを聞いて、どうせ潰れるんだったら好きなことを、やりたいことをして、ちゃんと経営に向き合おうと決心しました。

そのときに返ってきたのが「お前、経営指針創ったのか？経営理念は？」でした。そして「お前がやっているのはただ人真似だけだ。ちゃんとこういう会社になりたいと決めた上でやるから結果が出るんだ。お前の考え方は甘いんじゃない」と。とにかく理念を創れ、経営指針を創れ！」と怒られました。その言葉に背中を押され、長野同友会の「経営指針を創る会」を受講します。

そしてとった行動が愛知同友会の先輩への電話でした。「一生懸命同友会の教えを実践してきたつもりなのに、一体何なんですか同友会は！」と胸の内の怒りのようなものをぶつけました。

入会したものの、「何のために経営をしていますか？」と問われても何の答えも出さず、白紙で提出しました。

私には何が悪くて辞めていくのかわかりませんでした。

そんなとき同友会で「社員アンケート」のを知り、迷わず実施しました。その結果、返ってきたのは「誰々さんがムカツク」「誰々さんの態度が嫌い」「誰々さんの歩き方か嫌だ」等々、こ

うなものを受講します。

入会したものの、「何のために経営をしていますか？」と問われても何の答えも出さず、白紙で提出しました。





そこで言われたのが「白紙

で出したのはお前が初めてだ。じゃあ社員に聞いて来い。お前が無理だったら社員が考えてくれるかもしれない」と。慌てて「うちの社員にこんなこと無理です。考えてるわけがない」と答えると、「それはお前が社員ときちんと向き合っていないからだ」、そう指摘されました。

結局、社員に「こういうものを創りたいから書いて来てくれないか」と頼むと、ちゃんと書いて来てくれました。その中で一番強かつ

たのが地域に対する思いでした。また、「テヅカ精機がこうなってくれればいいな」など、いろんな思いが返ってきて、あゝ、自分はひとりではなかったんだと気付きました。

そして、初めて父親に創業の思いを聞きました。返事は「木曾はもともと木材が盛んな土地で、みんなが林業に携わっていた。だけど、いつかこの時代は終わるのではないか。新たな産業を起こさないと働く場所がなくなるのではないかと考え起業した」と話してくれました。

そこから社員たちと議論を重ね、1年をかけてできたのが、『ものづくりからまちづくりへ』の理念と、3つの経営理念『経営者としての覚悟を持ち、社員と経営指針を創り実践、共に育ちあ

男性社員採用の覚悟

テヅカ精機の仕事は、お客様から設備機器をお借りして作業をすることで成り立っていたのですが、初めての男性社員の採用で、自社で設備機器を設えることになりました。

創業以来、女性社員ばかりだったのは、父親曰く、「男性社員を採用するというのは、彼の人生を引き受けるということだ。大きな責任が伴うんだぞ」ということです。が、私はひとりの男性社員の採用に踏み切り、彼に学校へ通ってもらい技術を習得し、設備機械を自社で造ることにしました。そこから一気に男性社員が増えていきましたが、最初に入った社員は今、常務として頑張ってくれています。こうして徐々に電気設備事業が我が社の事業の柱となっていきました。そして、

社員の採用が増えると共に事業は住宅設備やクリーニング事業へと広がっていき、社員さんは「今まではただただ物を作っていただけだったが、今は理念があり、誇りをもって作っているから楽しくてしょうがない」と、仕事に向き合ってくれています。

※誌面の都合で一部割愛させていただきます。





皆 さんのおかげで無事に定時総会を終え、ほっとしています。会はいつでも参加される方の意識次第だと思います。当日集まっていた会員の方々、事務局の皆さん、また来賓の方々のおかげで良い会が開けました。皆さんの意識の表れです。本当にありがとうございました。

年度末の会の活動などを報告する終わりの会である総会、年度始まりの活動の方向などを説明する始まりの会である総会。終わりと始まりの目印となり、今後の同友会の起点になればとの思いで開催しました。

まずは、記念講演の手塚良太氏の話はよかったですね。今まさに経営に困っている会員さんにとっては、学びの多い話だったと思います。社員一人ひとりが輝く会社に、月曜日がワクワクする会社に、今が一番楽しい会社に…いろいろな実践のヒントを学べたと思います。

また、総会では県の取り組み「三本の矢」を確認できたと思います。今までの同友会は、労使見解から学んで経営者の覚悟・指針書の成文化・社員を最良のパートナーにと学びを深めて、よい経営者になる学びと実践をしてきました。そして、社内の問題を改善してよい会社づくりをしてきました。それが近年、目を外に向けた活動が盛んに

実行委員長のまとめ

第49回定時総会 実行委員長

エスコートライフ／代表 **榎原 貴仁氏**
(高松第9支部)

なってきました。その活動の武器となる代表的な取り組みが「三本の矢」です。「三本の矢」を毎年取り組みブラッシュアップすることで、よい会社が地域へと広がっていき、地域の環境づくりへと繋がる活動になっています。今までの社内をよくする活動の上に、これからは外に向かって活動していく同友会となりました。

そんな中で、来年の青全交開催、再来年の香川同友会 50 周年、そして次の年の中同協全国総会開催と行事が続きます。今回の総会は、香川同友会が今後ホップ・ステップ・ジャンプする、そのスタートにあたる総会でした。これは、これからの香川同友会にとってビッグチャンスだと思います。今後、香川同友会で開催される行事の中で、我々会員自身の会社をより強くより大きくしていく事が学べます。全国から同友会の仲間が香川の地を訪れて学びを残し、自社をよくするヒントを教えてください、まさに同友会活動と自社実践の両輪がフル回転で走ることができるようになります。

これからの同友会に皆さんが参加することで、自社を必ずよくしてください。すべては自社の経営をよくするための同友会活動です。これからも経営を楽しみましょう。



PHOTO DIARY



定時総会(第2部・第3部)の様をスナップショット!

【ご臨席いただいた来賓の皆様】※順不同

四国財務局／局長 児玉 光載 様
香川県／知事 池田 豊人 様
高松市／市長 大西 秀人 様
三木町／町長 伊藤 良春 様
琴平町／町長 片岡 英樹 様

株式会社百十四銀行／地域創生部長 星野 良浩 様
株式会社香川銀行／常務執行役員本店営業部長
兼 本店営業部南新町出張所長
兼 本店営業部宮脇町出張所長

宮城 直樹 様
高松信用金庫／理事・業務推進部長 青井 敏文 様
観音寺信用金庫／専務理事 小林 浩二 様
香川県信用組合／常務理事 大山 育律 様

独立行政法人中小企業基盤整備機構 四国本部／本部長 樋口 光生 様
日本労働組合総連合会香川県連合会／会長 福家 良一 様
四国職業能力開発大学校／副校長 水野 隆志 様
香川県教育委員会／副教育長 海津 洋 様



第2部 定時総会 来賓



第3部 懇親会 来賓



第2部 来賓挨拶 池田豊人様



第3部 来賓挨拶 児玉光載様



第3部 乾杯挨拶 星野良浩様



会員増強表彰 石田将登氏・小原 一朗氏



支部例会参加率最優秀賞 三木支部



支部会員例会参加率最優秀賞 高松第9支部

